

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
国語	現代の国語	2	東書 新編 現代の国語	NHK出版 新編 現代の国語
履修上の留意点		標準 1年次履修 【必修科目】		
指導目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			

年間指導計画								
スクーリング (最低面接時数 4 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>メディア減免あり</small>	
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する <small>参考としない</small> NHK高校講座の回	
1	4/26, 27	P12～	P12～	叙述を的確に捉える 「ルリボシカミキリの青」	第1通	5/7	指定なし	
2	5/24, 25	P24～	P17～	筆者の主張を正確に読み取る 「未来をつくる想像力」	第2通	6/4		
3	6/7, 8	P18～,208	P80～	内容や構成に注意して話す(スピーチ)	第3通	6/18		
4	7/5, 6	P56～	P83～	異なる種類の文章を読み比べる	第4通	7/16		
5	7/12, 13	p140～	P77～	新聞記事を読み意見文を書く	第5通	7/23		
-	8/23, 24	前期B試験：試験範囲は第1～5通レポート					8/6	-
6	9/27, 28	P33～	P22～	文章構成を理解し、視野を広げる 「水の東西」	第6通	10/8	指定なし	
7	10/11, 12	P18	P102～	構成や展開を意識して聞く・話す	第7通	10/22		
8	10/25, 26	P148～	スクーリング 内で指示	相手に応じた言葉を選んで話す・書く	第8通	11/19		
9	11/8, 9	P214～			第9通	12/10		
10	11/29, 30	P177～	P99～	表現の仕方を工夫して伝える 「紹介文やポップ」	第9通	12/10		
-	1/10, 11	後期試験：試験範囲は第6～9通レポート					12/24	-

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準（※Eのままでは単位修得不可）			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	設問の90%以上を正答できるほど、基礎的基本的な知識技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	設問の90%以上を正答できるほど、思考力・判断力・表現力が十分にあるとともに、関連する事項について、自身の考えを説得力をもって表現している様子がみられる。	関連する事項の課題に粘り強く取り組み、説得力のある意見や考えを十分に述べ、考察を深めるとともに、現代社会の課題や我が国の言語文化に強い興味関心を持ち、視野を広げる取組みが十分になされている。
B	設問の70%以上を正答できるほど、基礎的基本的な知識技能が定着し、活用できている。	設問の70%以上を正答できる程度に、思考力・判断力・表現力があるとともに、関連する事項について自身の考えを一通り表現することができている。	関連する事項の課題に粘り強く取り組みつつ、自身の意見や考えを述べて考察を深めようとしている。また、現代社会の課題や我が国の言語文化にも興味関心を持ち、視野を広げようと努力している。
C	設問の60%以上を正答できる程度に、基礎的基本的な知識技能の定着が一部見られるが、さらに努力を要する。	設問の60%以上を正答する程度の思考判断表現する力はみられるが、関連する事項について自身の考えを表現することについては、さらに努力を要する状況である。	関連する事項の課題への取組みはみられるが、十分とは言えない。また、現代社会の課題や我が国の言語文化に対する興味関心も少なく、さらなる努力を必要としている。
E	レポートに未記入等の不備がある場合やレポート全体の正答率が60%未満である場合で、総合評価はEとなりレポートは再提出となる。この場合3観点の評価はつけずに返却し、再提出されたレポートがC以上またはEX(締切期限後の提出)の場合に、改めて3観点の評価を行う。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
国語	言語文化	3	東書 新編言語文化	NHK出版 新編言語文化
履修上の留意点		標準 2年次履修 【必修科目】		
指導目標	(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			

年間指導計画								
スクーリング (最低面接時数 4 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>メディア減免あり</small>	
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する <small>参考とよ</small> NHK高校講座の回	
1	4/19, 20	P10~17	P8~	随筆を読み、ものの見方を広げる 「さくらさくらさくら」	第1通	4/30	4, 5	
2	5/24, 25	P124~129	P74~	古文に親しむ「児のそら寝」	第2通	6/4	1~3	
3	6/7, 8	P218~231	P166~	漢文に親しむ 故事成語	第3通	6/18	10, 11	
4	7/5, 6	P54~74	P39~	詩や短歌・俳句を味わう・「冬が来た」ほか	第4通	7/16	12, 13, 16, 33	
5	7/12, 13	P76~96	P52~	小説を読み①「羅生門」	第5通	7/23	20~24	
-	9/13, 14	前期B試験：試験範囲は第1~5通レポート					9/3	-
6	10/11, 12	P235~244	P236~	漢詩を味わう 絶句と律詩	第6通	10/22	17~19	
7	11/8, 9	P145~155	P91~	随筆を読み、古人の考え方を 知る「徒然草」「枕草子」	第7通	11/19	6~8	
8	11/15, 16	P164~ P178~179	P112~	和歌を味わい、歌物語を読む 「折々のうた」「伊勢物語」	第8通	11/26	14, 15, 25, 26	
9	11/29, 30	P24~	P16~	小説を読み②「とんかつ」	第9通	12/10	-	
-	1/10, 11	後期試験：試験範囲は第6~9通レポート					12/24	-

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準（※Eのままでは単位修得不可）			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	設問の90%以上を正答できるほど、基礎的・基本的な知識技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	設問の90%以上を正答できるほど、思考力・判断力・表現力が十分にあるとともに、関連する事項について、自身の考えを説得力をもって表現している様子がみられる。	関連する事項の課題に粘り強く取り組み、説得力のある意見や考えを十分に述べ、考察を深めるとともに、現代社会の課題や我が国の言語文化に強い興味関心を持ち、視野を広げる取り組みが十分になされている。
B	設問の70%以上を正答できるほど、基礎的・基本的な知識技能が定着し、活用できている。	設問の70%以上を正答できる程度に、思考力・判断力・表現力があるとともに、関連する事項について自身の考えを一通り表現することができている。	関連する事項の課題に粘り強く取り組みつつ、自身の意見や考えを述べて考察を深めようとしている。また、現代社会の課題や我が国の言語文化にも興味関心を持ち、視野を広げようと努力している。
C	設問の60%以上を正答できる程度に、基礎的な知識技能の定着が一部見られるが、さらに努力を要する。	設問の60%以上を正答する程度の思考判断表現する力はみられるが、関連する事項について自身の考えを表現することについては、さらに努力を要する状況である。	関連する事項の課題への取り組みはみられるが、十分とは言えない。また、現代社会の課題や我が国の言語文化に対する興味関心も少なく、さらなる努力を必要としている。
E	レポートに未記入等の不備がある場合やレポート全体の正答率が60%未満である場合で、総合評価はEとなりレポートは再提出となる。この場合3観点の評価はつけずに返却し、再提出されたレポートがC以上またはEX(締切期限後の提出)の場合に、改めて3観点の評価を行う。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
国語	文学国語	4	第一 高等学校標準文学国語	NHK出版 高等学校標準文学国語
履修上の留意点		・標準 3年次履修 ・「数学A」との選択		
指導目標	(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			

年間指導計画								
スクーリング (最低面接時数 5 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>教材減免あり</small>	
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する NHK高校講座の回	
1	4/26, 27	P18～28	P12～	現代小説を読む「デューク」	第1通	5/7	「言語文化」の37～39	
2	5/10, 11	P194～209	P93～	近代小説を読む「山月記①」	第2通	5/21	54～61	
3	5/24, 25	P194～209	P93～	近代小説を読む「山月記②」	第3通	6/4	54～61	
4	6/7, 8	P314～319	—	テーマを決めて短歌・俳句を作る	第4通	6/18	67, 68	
5	6/21, 22	P308～313	—	物語の創造「物語を発見する力」	第5通	6/29	45, 46	
6	7/5, 6	P308～313	—	物語を創作する／前期試験に向けて	第6通	7/16	45, 46	
—	7/12, 13	前期A試験：試験範囲は第1～5通レポート					7/2	—
7	8/30, 31	P77～90	P42～	随筆を読む「真珠の耳飾りの少女」	第7通	9/10	11, 12	
8	9/27, 28	P138～152	P63～	戦争文学を読む「バグダッドの靴磨き①」	第8通	10/8	76～80	
9	10/11, 12	P138～152	P63～	戦争文学を読む「バグダッドの靴磨き②」	第9通	10/22	76～80	
10	10/25, 26	P92～107	P47～	近代小説を読む「鼻」	第10通	11/5	14～20	
11	11/8, 9	P34～ P226～	P115～	詩を味わう 「そこにひとつの席が」 「永訣の朝」	第11通	11/19	4, 71	
12	12/1, 2	P232～246	P120～	現代小説を読む「卒業」	第12通	12/10	72～75	
—	1/10, 11	後期試験：試験範囲は第6～12通レポート					12/24	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準（※Eのままでは単位修得不可）			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	設問の90%以上を正答できるほど、基礎的・基本的な知識技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	設問の90%以上を正答できるほど、思考力・判断力・表現力が十分にあるとともに、関連する事項について、自身の考えを説得力をもって表現している様子がみられる。	関連する事項の課題に粘り強く取り組み、説得力のある意見や考えを十分に述べ、考察を深めるとともに、現代社会の課題や我が国の言語文化に強い興味関心を持ち、視野を広げる取り組みが十分になされている。
B	設問の70%以上を正答できるほど、基礎的・基本的な知識技能が定着し、活用できている。	設問の70%以上を正答できる程度に、思考力・判断力・表現力があるとともに、関連する事項について自身の考えを一通り表現することができている。	関連する事項の課題に粘り強く取り組みつつ、自身の意見や考えを述べて考察を深めようとしている。また、現代社会の課題や我が国の言語文化にも興味関心を持ち、視野を広げようと努力している。
C	設問の60%以上を正答できる程度に、基礎的な知識技能の定着が一部見られるが、さらに努力を要する。	設問の60%以上を正答する程度の思考・判断・表現する力はみられるが、関連する事項について自身の考えを表現することについては、さらに努力を要する状況である。	関連する事項の課題への取り組みはみられるが、十分とは言えない。また、現代社会の課題や我が国の言語文化に対する興味関心も少なく、さらなる努力を必要としている。
E	レポートに未記入等の不備がある場合やレポート全体の正答率が60%未満である場合で、総合評価はEとなりレポートは再提出となる。この場合3観点の評価はつけずに返却し、再提出されたレポートがC以上またはEX(締切期限後の提出)の場合に、改めて3観点の評価を行う。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
国語	古典探究	4	第一 高等学校標準古典探求	NHK出版 高等学校標準古典探求
履修上の留意点		・標準 4年次履修 ・「数学Ⅱ」との選択		
指導目標	(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			

年間指導計画					NHK2025版		
スクーリング (最低面接回数 5回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>7/17 減免あり</small>
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	
1	4/26, 27	P35・P42～50	P61～	物語(一)「竹取物語」	第1通	5/7	12～14
2	5/10, 11	P157～159 P203～206	P248～	漢詩の鑑賞・諸家の思想	第2通	5/21	17, 36, 37
3	5/24, 25	P119～123	P182～	物語(三)「平家物語」	第3通	6/4	20～21
4	6/7, 8	P59～66	P89～	随筆(二)「枕草子」	第4通	6/18	29
5	6/21, 22	P59～66	P89～	随筆(二)「枕草子」	第5通	7/3	29
6	7/5, 6	P67～75	P102～	和歌「万葉集 他」	第6通	7/16	9～11
-	7/12, 13	前期A試験 : 試験範囲は第1～4通レポート				7/2	-
7	8/30, 31	P19～25	P26～	随筆(一)「徒然草」	第7通	9/10	3～4
8	9/27, 28	P142～146	P214～	古事・寓話	第8通	10/8	7～8
9	10/25, 26	P107 P112～117	P137～	日記「更級日記」	第9通	11/5	31
10	11/8, 9	P93 P102～106	P157～	物語(二)「大鏡」	第10通	11/19	19
11	11/29, 30	P104～106	P157～	物語(二)「大鏡」	第11通	12/10	19
12	12/13, 14	P11～18	P10～	説話(一)「古本説話集」「古今著聞集」	第12通	12/23	2
-	1/17, 18	後期試験 : 試験範囲は第5～12通レポート				1/7	-

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	設問の90%以上を正答できるほど、基礎的・基本的な知識技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	設問の90%以上を正答できるほど、思考力・判断力・表現力が十分にあるとともに、関連する事項について、自身の考えを説得力をもって表現している様子がみられる。	関連する事項の課題に粘り強く取り組み、説得力のある意見や考えを十分に述べ、考察を深めるとともに、現代社会の課題や我が国の言語文化に強い興味関心を持ち、視野を広げる取り組みが十分になされている。
B	設問の70%以上を正答できるほど、基礎的・基本的な知識技能が定着し、活用できている。	設問の70%以上を正答できる程度に、思考力・判断力・表現力があるとともに、関連する事項について自身の考えを一通り表現することができている。	関連する事項の課題に粘り強く取り組みつつ、自身の意見や考えを述べて考察を深めようとしている。また、現代社会の課題や我が国の言語文化にも興味関心を持ち、視野を広げようと努力している。
C	設問の60%以上を正答できる程度に、基礎的な知識技能の定着が一部見られるが、さらに努力を要する。	設問の60%以上を正答する程度の思考判断表現する力はみられるが、関連する事項について自身の考えを表現することについては、さらに努力を要する状況である。	関連する事項の課題への取り組みはみられるが、十分とは言えない。また、現代社会の課題や我が国の言語文化に対する興味関心も少なく、さらなる努力を必要としている。
E	レポートに未記入等の不備がある場合やレポート全体の正答率が60%未満である場合で、総合評価はEとなりレポートは再提出となる。この場合3観点の評価はつけずに返却し、再提出されたレポートがC以上またはEX(締切期限後の提出)の場合に、改めて3観点の評価を行う。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
地歴	歴史総合	2	東書 歴史総合	(浜島 新詳 歴史総合)
履修上の留意点		・標準 2年次履修 【必修科目】		
指導目標	(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接時数 4 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)	視聴メディア <small>※ 対応する</small>	
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	
1	5/10, 11	P5~47		序章1節~2節 歴史の扉 第1章1節 近代化への問い 2節 アジアの繁栄と西洋近代の形成	第1通	5/28(木)	1~4
2	6/21, 22	P48~81	副教材については	第1章3節 世界の一体化と多様な近代化 4節 近代化と現代的な諸課題	第2通	7/9(木)	5~7
3	7/12, 13	P82~107	スクーリング内で指示	第2章1節 国際秩序の変化 2節 第一次世界大戦と大衆社会	第3通	7/30(木)	8~9
4	7/26, 27	P5~107		まとめ(第1通~第3通)テスト対策			1~9
-	9/13, 14	前期B試験 : 試験範囲は第1~3通レポート				9/3(木)	-
5	9/27, 28	P108~137		第2章3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 大衆化と現代的な諸課題	第4通	10/15(木)	10~12
6	10/25, 26	P138~165	副教材については	第3章1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済	第5通	11/12(木)	13~16
7	11/29, 30	P166~193	スクーリング内で指示	第3章3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望	第6通	12/17(木)	17~20
-	1/17, 18	後期試験 : 試験範囲は第4~6通レポート				1/7(木)	-

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を高度に理解している。 ○諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を高度に身に付けている。	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることが高いレベルでできる。 ○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	○よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。 ○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。
B	○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ○諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握することができる。 ○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	○近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返ろうとしている。 ○多面的・多角的な考察や深い理解をしようとしている。
C	○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、考察することができる。	○近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA~C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
地歴	地理総合	2	帝国 高等学校新地理総合	(第一 最新地理図表GEO)
履修上の留意点		・標準 2・3年次履修 【必修科目】		
指導目標	(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接時数 4 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>メディア減免あり</small>
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する <small>参考となる</small> NHK高校講座の回
1	5/10, 11	P8~42	副教材についてはスクーリング内で指示	地図や地理情報システムと国際社会	第1通	5/21(木)	1~3
2	7/12, 13	P44~83		世界の地形と気候	第2通	7/23(木)	4~7
3	7/26, 27	P84~115		世界の言語・宗教と人々の生活	第3通	8/6(木)	8~9
4	8/30, 31	上記頁		放送視聴	全範囲	9/3(木)	1~20
-	9/13, 14	前期B試験：試験範囲は第1~3通レポート				9/3(木)	-
5	9/27, 28	P116~137	副教材についてはスクーリング内で指示	世界の産業と人々の生活	第4通	10/8(木)	10~11
6	10/25, 26	P138~182		地球的課題と国際協力	第5通	11/5(木)	12~16
7	12/13, 14	P183~227		自然災害と防災	第6通	12/24(木)	17~20
-	1/17, 18	後期試験：試験範囲は第4~6通レポート				1/7(木)	-

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準（※Eのみでは単位修得不可）			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	設問の90%以上を正答できる程度に、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	設問の90%以上を正答できる程度に、十分に知識等を応用して発展的に思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して粘り強く取り組み、主体的に関わることで学術的に探究しようとする努力が認められる。
B	設問の75%以上を正答できる程度に、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	設問の75%以上を正答できる程度に、ほぼ知識等を応用して思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して多少の興味をもち、主体的に関わることで学術的に探究しようとする姿勢が見られる。
C	設問の60%以上を正答できる程度に、知識・技能の定着がみられるが、さらに努力を要する。	設問の60%以上を正答できる程度に、知識等を応用して思考・判断し、表現がみられるが、さらに努力を要する。	当該学習事項の課題等に対して取り組みは見られるが、興味をもって主体的に探究しようとするまではいかない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限内ならA~C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
地歴	日本史探究	4	東書 日本史探究	(とうほう 日本史のライブラリー)
履修上の留意点		標準 4年次履修		
指導目標	(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			

年間指導計画								
スクーリング (最低面接回数 5回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>教材減免あり</small>	
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限		対応する、 <small>参考となる</small> NHK高校講座の回
1	4/26, 27	P7~49	副教材については スクーリング 内で指示	原 始 旧石器/縄文/弥生/古墳 古代① 飛鳥時代/律令国家/飛鳥・白鳳文化 古代② 奈良時代/天平文化	第1通	5/7(木)	1~5	
2	5/10, 11	P50~79		古代③ 平安時代/弘仁貞観文化 " 摂関政治/国風文化 中世① 院政/院政期文化/荘園/平氏政権	第2通 第3通	5/21(木)	6~9	
3	5/24, 25	P 74~75 P 80~122		中世② 鎌倉幕府/執権政治と元寇/鎌倉文化 中世③ 建武新政/室町幕府 " 戦国時代/室町文化	第4通	6/4(木)	10~16	
4	6/7, 8	P124~155		近世① 織豊政権/桃山文化 近世② 江戸幕府/寛永文化/鎖国	第5通	6/18(木)	17~20	
5	6/21, 22	P156~186		" 幕政展開/産業発達/元禄文化 " 幕政改革/幕政危機/化政文化	第6通	6/30(木)	21~26	
-		7/12, 13		前期A試験 : 試験範囲は第1~6通レポート			7/2(木)	-
6	9/13, 14	P187~203	副教材については スクーリング 内で指示	近代① 幕末(開国・幕府滅亡) " ② 明治維新	第7通	9/24(木)	27~28	
7	9/27, 28	P204~223		近代 殖産興業と文明開化 " 初期外交/自由民権運動/憲法 " 初期議会/条約改正/明治文化①	第8通	10/8(木)	29~30	
8	10/11, 12	P224~249		" 日清戦争/日露戦争/資本主義 " 明治文化② 近代③ 第1次大戦/大正デモクラシー " 大正文化	第9通	10/22(木)	31~36	
9	10/25, 26	P241~269		近代④ 恐慌/ファシズム " 満州事変/日中戦争/太平洋戦争 " 日本の降伏	第10通	11/5(木)	37~38	
10	11/8, 9	P270~285		現代 占領統治/新憲法/冷戦/戦後文化 占領統治の転換/独立と安保/安保改定	第11通	11/19(木)	39	
11	11/15, 16	P286~321		" 高度経済成長/70年代/80年代 " 90年代/現代の日本と課題	第12通	11/26(木)	40~42	
12	11/29, 30	上記頁		(既習事項の復習と確認)	まとめ		27~42	
-		1/10, 11		後期試験 : 試験範囲は第7~12通レポート			12/24(木)	-

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	設問の90%以上を正答できる程度に、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	設問の90%以上を正答できる程度に、十分に知識等を応用して発展的に思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して粘り強く取り組み、主体的に関わることで学術的に探究しようとする努力が認められる。
B	設問の75%以上を正答できる程度に、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	設問の75%以上を正答できる程度に、ほぼ知識等を応用して思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して多少の興味をもち、主体的に関わることで学術的に探究しようとする姿勢が見られる。
C	設問の60%以上を正答できる程度に、知識・技能の定着がみられるが、さらに努力を要する。	設問の60%以上を正答できる程度に、知識等を応用して思考・判断し、表現がみられるが、さらに努力を要する。	当該学習事項の課題等に対して取り組みは見られるが、興味をもって主体的に探究しようとするまではいかない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限内ならA~C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
地歴	地理探究	4	帝国 新詳地理探究	(第一 最新地理図表GEO)
履修上の留意点		・標準 4年次履修 ・「物理基礎」との選択		
指導目標	(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接時数 5 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>メディア減免あり</small>
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する <small>参考となる NHK高校講座の回</small>
1	4/19, 20	P8～31	副教材についてはスクーリング内で指示	世界の大地形	第1通	4/30	1～3
2	5/10, 11	P32～79		世界の気候	第2通	5/21	4～10
3	5/24, 25	P80～121		世界の資源・エネルギー	第3通	6/4	11～12
4	6/7, 8	P122～153		工業・商業について	第4通	6/18	13～15
5	6/21, 22	P154～165		観光・貿易・経済圏	第5通	6/30	16～18
—	7/12, 13	前期A試験：試験範囲は第1～5通レポート				7/2	—
6	7/26, 27	P166～197	副教材についてはスクーリング内で指示	世界の人口	第6通	8/6	19～20
7	8/23, 24	P198～220		民族・言語・宗教について	第7通	9/3	21～27
8	9/27, 28	P228～237		中国の発展について	第8通	10/8	28
9	10/25, 26	P238～253		朝鮮半島・ASEAN諸国	第9通	11/5	29～30
10	11/8, 9	P254～277		南アジア・西アジア・中央アジア	第10通	11/19	31～33
11	11/15, 16	P278～295 P316～322		ヨーロッパ・EUについて	第11通	11/26	34～35
12	11/29, 30	P296～315		アメリカ合衆国・ラテンアメリカ	第12通	12/10	36～37
—	1/10, 11	後期試験：試験範囲は第6～12通レポート				12/24	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準（※Eのみまでは単位修得不可）			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	設問の90%以上を正答できる程度に、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	設問の90%以上を正答できる程度に、十分に知識等を応用して発展的に思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して粘り強く取り組み、主体的に関わることで学術的に探究しようとする努力が認められる。
B	設問の75%以上を正答できる程度に、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	設問の75%以上を正答できる程度に、ほぼ知識等を応用して思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して多少の興味をもち、主体的に関わることで学術的に探究しようとする姿勢が見られる。
C	設問の60%以上を正答できる程度に、知識・技能の定着がみられるが、さらに努力を要する。	設問の60%以上を正答できる程度に、知識等を応用して思考・判断し、表現がみられるが、さらに努力を要する。	当該学習事項の課題等に対して取り組みは見られるが、興味をもって主体的に探究しようとするまではいかない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA～C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
公民	公共	2	東書 公共	(第一 クローズアップ公共)
履修上の留意点		・標準 1年次履修 【必修科目】		
指導目標	<p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>			

年間指導計画

スクーリング (最低面接時数 4 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>メディア減免あり</small>
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する <small>参考とな</small> NHK高校講座の回
1	6/7, 8	P10~35	副教材については スクーリング 内で指示	公共的空間	第1通	6/24(水)	1~3
2	7/5, 6	P39~83		民主政治	第2通	7/22(水)	4~5
3	7/26, 27	P86~111		法の働き	第3通	8/10(月)	6~8
—	8/30, 31	前期B試験 : 試験範囲は第1~3通レポート				8/20(木)	—
4	9/27, 28	P118~145	副教材については スクーリング 内で指示	経済社会	第4通	10/13(火)	9~11
5	10/11, 12	P152~185		職業生活	第5通	10/28(水)	12~13
6	10/25, 26	P178~201		国際社会	第6通	11/10(火)	14~17
7	11/29, 30	上記頁		まとめ(第4通~第6通)			9~17
—	1/10, 11, 13	後期試験 : 試験範囲は第4~6通レポート				12/24(木)	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※Eのみまでは単位修得不可)

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	設問の90%以上を正答できる程度に、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	設問の90%以上を正答できる程度に、十分に知識等を応用して発展的に思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して粘り強く取り組み、主体的に関わることで学術的に探究しようとする努力が認められる。
B	設問の75%以上を正答できる程度に、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	設問の75%以上を正答できる程度に、ほぼ知識等を応用して思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して多少の興味をもち、主体的に関わることで学術的に探究しようとする姿勢が見られる。
C	設問の60%以上を正答できる程度に、知識・技能の定着がみられるが、さらに努力を要する。	設問の60%以上を正答できる程度に、知識等を応用して思考・判断し、表現がみられるが、さらに努力を要する。	当該学習事項の課題等に対して取り組みは見られるが、興味をもって主体的に探究しようとするまではないかない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA~C, 期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
公民	倫理	2	東書 倫理	(第一 テオリー最新倫理資料集)
履修上の留意点		・標準 3年次履修 ・「政治経済」との隔年開講		
指導目標	(1)古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。 (3)人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。			

年間指導計画								
スクーリング (最低面接時数 4 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>アイ減免あり</small>	
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	<small>対応する</small> <small>参考とな</small> NHK高校講座の回	
1	5/24, 25	P10~41	副教材については スクーリング 内で指示	青年期の課題・3大哲学	第1通	6/10	1~8	
2	6/21, 22	P42~81		世界の3大宗教	第2通	7/8	9~14	
3	7/13, 14	P82~105		宗教改革・社会契約説	第3通	7/29	15~18	
—	9/13, 14	前期B試験 : 試験範囲は第1~3通レポート					9/3	—
4	10/11, 12	P106~124	副教材については スクーリング 内で指示	実存哲学	第4通	10/28	19~27	
5	10/25, 26	P125~168		日本人の宗教観	第5通	11/10	28~30	
6	11/15, 16	P169~235		日本的仏教・儒教・キリスト教	第6通	12/2	31~42	
7	12/13, 14	上記頁		まとめ(第4通~第6通の復習と確認)			19~42	
—	1/17, 18	後期試験 : 試験範囲は第4~6通レポート					1/7	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	設問の90%以上を正答できる程度に、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	設問の90%以上を正答できる程度に、十分に知識等を応用して発展的に思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して粘り強く取り組み、主体的に関わることで学術的に探究しようとする努力が認められる。
B	設問の75%以上を正答できる程度に、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	設問の75%以上を正答できる程度に、ほぼ知識等を応用して思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して多少の興味をもち、主体的に関わることで学術的に探究しようとする姿勢が見られる。
C	設問の60%以上を正答できる程度に、知識・技能の定着がみられるが、さらに努力を要する。	設問の60%以上を正答できる程度に、知識等を応用して思考・判断し、表現がみられるが、さらに努力を要する。	当該学習事項の課題等に対して取り組みは見られるが、興味をもって主体的に探究しようとするまではいかない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA~C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
数学	数学Ⅰ①	3	東書 改訂版 新数学Ⅰ	NHK出版 新数学Ⅰ
履修上の留意点		・標準 1年次履修 【必修科目】		
指導目標	(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表し、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			

年間指導計画								
スクーリング (最低面接時数 3回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>メディア減免あり</small>	
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する <small>参考となる</small> NHK高校講座の回	
1	4/19, 20	P32～41	P19～22	数と式(乗法公式)	1通目	4/30	2, 4	
2	5/24, 25	P42～47	P23～32	数と式(因数分解)	2通目	6/4	3, 4	
3	6/21, 22	P48～57	P33～45	数と式(実数)	3通目	7/3	5～8	
4	7/5, 6	P58～71	P46～60	数と式(方程式と不等式)	4通目	7/16	9～11	
5	7/26, 27	P74～101	P61～94	2次関数	5通目	8/7	12～21	
—	8/30, 31	前期B試験 : 試験範囲は第1～5通レポート					8/20	—
6	10/25, 26	P104～113 P122～123	P95～107 P122～124	三角比・鈍角の三角比	6通目	11/5	22～24	
7	11/15, 16	P114～121	P112～121	三角比の相互関係と応用	7通目	11/26	25～31	
8	11/29, 30	P130～147	P125～154	データの分析	8通目	12/10	32～38	
9	12/13, 14	P150～160	P155～174	集合と論証	9通目	12/23	39～40	
—	1/17, 18	後期試験 : 試験範囲は第6～9通レポート					1/7	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	・設問の90%以上が正答 ・各単元の学習内容に対する知識技能が十分身につけている	・設問の90%以上が正答 ・各単元の学習内容に対し、知識技能を用いて正しい思考・判断のもと正確に解答を導くことができる	内容を十分理解しており、正確に問題解法に応用することができる
B	・各単元の学習内容に対する設問の70%以上90%未満が正答 ・知識技能がほぼ身につけている	・設問の70%以上90%未満が正答 ・各単元の学習内容に対し、知識技能を用いて問題を解こうとするが正確な解答を導くことができない	内容を十分理解しているが、正確に問題解法に応用することができない
C	・設問の70%未満が正答 ・各単元の学習内容に対する知識技能の一部しか身につけていない	・設問の70%未満が正答 ・各単元の学習内容に対し、知識技能は十分身につけていないが考えて問題を解こうとする姿勢が見られる	内容は十分理解していないが、問題解法に応用しようという姿勢が見られる
E	総合評価 E は再提出であり、3観点評価はつかない ・レポートに空欄等の不備がある ・設問の正答が50%未満であるか、学習内容を整理して問題に取り組む姿勢が見られない		
EX	総合評価 EX は期限切れの合格であり、3観点評価ABCはつく		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
数学	数学Ⅰ②	3	東書 改訂版 新数学Ⅰ	NHK出版 新数学Ⅰ
履修上の留意点		・標準 2年次履修 【必修科目】 ・「論理・表現Ⅰ」との選択		
指導目標	(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			

年間指導計画								
スクーリング (最低面接時数 3 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>マイIT減免あり</small> 対応する参考となるNHK高校講座の回	
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限		
1	5/10, 11	P32～41	P19～22	数と式(乗法公式)	第1通	5/21	2, 4	
2	5/24, 25	P42～47	P23～32	数と式(因数分解)	第2通	6/4	3, 4	
3	6/7, 8	P48～57	P33～45	数と式(実数)	第3通	6/18	5～8	
4	6/21, 22	P58～71	P46～60	数と式(方程式と不等式)	第4通	7/2	9～10	
5	7/5, 6	P74～101	P61～94	2次関数	第5通	7/16	11～21	
—	8/30, 31	前期B試験：試験範囲は第1～5通レポート					8/20	—
6	9/27, 28	P104～113 P122～123	P95～107 P122～124	三角比・鈍角の三角比	第6通	10/8	22～24	
7	11/8, 9	P114～121	P112～121	三角比の相互関係と応用	第7通	11/19	25～31	
8	11/15, 16	P130～147	P125～154	データの分析	第8通	11/26	32～38	
9	12/13, 14	P150～160	P155～174	集合と論証	第9通	12/24	39～40	
—	1/10, 11	後期試験：試験範囲は第6～9通レポート					12/24	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	・設問の90%以上が正答 ・各単元の学習内容に対する知識技能が十分身につけている	・設問の90%以上が正答 ・各単元の学習内容に対し、知識技能を用いて正しい思考・判断のもと正確に解答を導くことができる	内容を十分理解しており、正確に問題解法に応用することができる
B	・各単元の学習内容に対する設問の70%以上90%未満が正答 ・知識技能がほぼ身につけている	・設問の70%以上90%未満が正答 ・各単元の学習内容に対し、知識技能を用いて問題を解こうとするが正確な解答を導くことができない	内容を十分理解しているが、正確に問題解法に応用することができない
C	・設問の70%未満が正答 ・各単元の学習内容に対する知識技能の一部しか身につけていない	・設問の70%未満が正答 ・各単元の学習内容に対し、知識技能は十分身につけていないが考えて問題を解こうとする姿勢が見られる	内容は十分理解していないが、問題解法に応用しようという姿勢が見られる
E	総合評価 E は再提出であり、3観点評価はつかない ・レポートに空欄等の不備がある ・設問の正答が50%未満であるか、学習内容を整理して問題に取り組む姿勢が見られない		
EX	総合評価 EX は期限切れの合格であり、3観点評価ABCはつく		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
数学	数学A	3	東書 改訂版 新数学A	NHK出版 新数学A
履修上の留意点		・標準 3年次履修 ・「文学国語」との選択		
指導目標	(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。			

年間指導計画									
スクーリング (最低面接時数 4 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>メディア減免あり</small>		
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する参考となる NHK高校講座の回		
1	5/10, 11	P4~7	P8~21	集合	第1通	5/21	2~4		
2	6/21, 22	P8~17	P22~32	順列	第2通	7/2	5~7		
3	7/5, 6	P18~21	P33~37	組合せ	第3通	7/16	8~9		
4	7/12, 13	P22~29	P38~46	確率①(排反事項・余事項 他)	第4通	7/23	10~12		
—	8/23, 24	前期B試験 : 試験範囲は第1~4通レポート					8/6	—	
5	9/27, 28	P30~37	P47~62	確率②(反復試行・期待値 他)	第5通	10/8	13~16		
6	10/11, 12	P40~45 P50~57	P64~91	図形の性質①(三角形の角と辺 他)	第6通	10/22	17~24		
7	10/25, 26	P58~63	P92~99	図形の性質②(円の接線 他)	第7通	11/5	25~27		
8	11/8, 9	P64~69	P100~107	図形の性質③(接線と弦が作る角 他)	第8通	11/19	28~31		
		P46~49	P92~118	図形の性質④(多面体 他)	第9通				
—	1/10, 11	後期試験 : 試験範囲は第5~9通レポート					12/24	—	

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	・設問の90%以上が正答 ・各単元の学習内容に対する知識技能が十分身につけている	・設問の90%以上が正答 ・各単元の学習内容に対し、知識技能を用いて正しい思考・判断のもと正確に解答を導くことができる	内容を十分理解しており、正確に問題解法に応用することができる
B	・各単元の学習内容に対する設問の70%以上90%未満が正答 ・知識技能がほぼ身につけている	・設問の70%以上90%未満が正答 ・各単元の学習内容に対し、知識技能を用いて問題を解こうとするが正確な解答を導くことができない	内容を十分理解しているが、正確に問題解法に応用することができない
C	・設問の70%未満が正答 ・各単元の学習内容に対する知識技能の一部しか身につけていない	・設問の70%未満が正答 ・各単元の学習内容に対し、知識技能は十分身につけていないが考えて問題を解こうとする姿勢が見られる	内容は十分理解していないが、問題解法に応用しようという姿勢がみられる
E	総合評価 E は再提出であり、3観点評価はつかない ・レポートに空欄等の不備がある ・設問の正答が50%未満であるか、学習内容を整理して問題に取り組む姿勢が見られない		
EX	総合評価 EX は期限切れの合格であり、3観点評価ABCはつく		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
数学	数学Ⅱ	4	東書 新数学Ⅱ	NHK出版 新数学Ⅱ
履修上の留意点		・標準 4年次履修 ・「古典探究」との選択		
指導目標	(1) いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数の範囲や式の性質に着目し, 等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力, 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し, 方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり, 図形の性質を論理的に考察したりする力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力, 関数の局所的な変化に着目し, 事象を数学的に考察したり, 問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			

年間指導計画								
スクーリング (最低面接時数 5 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>メディア減免あり</small>	
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する NHK高校講座の回	
1	4/26, 27	P12~19	P23~40	複素数と2次方程式	第1通	5/7	数Ⅱ(TV)4, 5	
2	5/10, 11	P20~27	P41~55	高次方程式	第2通	5/21	6~7	
3	5/24, 25	P34~51	P64~84	座標と直線の方程式	第3通	6/4	9~12	
4	6/7, 8	P52~63	P85~107	円の方程式	第4通	6/18	13~16	
5	7/5, 6	P66~71, 78,79	P110~141	三角関数	第5通	7/16	17~24	
—	7/12, 13	前期A試験 : 試験範囲は第1~4通レポート					7/2	—
6	7/26, 27	P86~95	P144~166	指数関数	第6通	8/7	25~27	
7	8/23, 24	P96~103	P167~186	対数関数	第7通	9/7	28~31	
8	9/13, 14	P106~112	P188~197	微分(1)(導関数 他)	第8通	9/24	32~34	
9	10/11, 12	P113~115	P198~200	微分(2)(接線 他)	第9通	10/22	32~34	
10	11/8, 9	P116~123	P201~211	微分(3)(関数の増減と極値 他)	第10通	11/19	35~37	
11	11/29, 30	P124~129	P212~219	積分(1)	第11通	12/10	38~39	
12	12/13, 14	P130~133	P220~225	積分(2)	第12通	12/23	40	
—	1/17, 18	後期試験 : 試験範囲は第5~12通レポート					1/7	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	・設問の90%以上が正答 ・各単元の学習内容に対する知識技能が十分身につけている	・設問の90%以上が正答 ・各単元の学習内容に対し, 知識技能を用いて正しい思考・判断のもと正確に解答を導くことができる	内容を十分理解しており, 正確に問題解法に応用することができる
B	・各単元の学習内容に対する設問の70%以上90%未満が正答 ・知識技能がほぼ身につけている	・設問の70%以上90%未満が正答 ・各単元の学習内容に対し, 知識技能を用いて問題を解こうとするが正確な解答を導くことができない	内容を十分理解しているが, 正確に問題解法に応用することができない
C	・設問の70%未満が正答 ・各単元の学習内容に対する知識技能の一部しか身につけていない	・設問の70%未満が正答 ・各単元の学習内容に対し, 知識技能は十分身につけていないが考えて問題を解こうとする姿勢が見られる	内容は十分理解していないが, 問題解法に応用しようという姿勢がみられる
E	総合評価 E は再提出であり, 3観点評価はつかない ・レポートに空欄等の不備がある ・設問の正答が50%未満であるか, 学習内容を整理して問題に取り組む姿勢が見られない		
EX	総合評価 EX は期限切れの合格であり, 3観点評価ABCはつく		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
理科	科学と人間生活	2	東書 改訂 科学と人間生活	NHK出版 科学と人間生活
履修上の留意点		・標準 1年次履修 【選択必修科目・・科学と人間生活+物化生地の基礎1科目】		
指導目標	(1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接時数 8 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>教材減免あり</small> <small>なし</small>
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する <small>参考となる</small> NHK高校講座の回
1	4/26, 27	P6~19	P8~17	序章 科学技術の発展、微生物とその利用	第1通	5/25	1~2
2	5/10, 11	P20~37	P8~17	微生物とその利用			2~3
3	5/24, 25	P96~103	P52~54	衣類の科学①	第2通	6/22	9~10
4	6/21, 22	P96~103	P52~54	衣類の科学②			9~10
5	7/12, 13	P104~113	P55~62	食品の科学	第3通	7/27	11
6	7/26, 27	上記頁	上記頁	レポートNo1~3のまとめ・復習			1~3, 9~11
—	9/13, 14	前期B試験：試験範囲は第1~3通レポート				9/3	—
7	9/27, 28	P116~137	P64~82	光の性質とその利用	第4通	10/12	12~13
8	10/11, 12	P158~179	P122~137	自然景観と自然災害	第5通	11/16	—
9	11/15, 16	P208~221	上記全頁	課題研究	第6通	12/14	1~16
10	11/29, 30	上記頁	上記頁	レポートNo4~6のまとめ・復習			12~16
11	12/13, 14	スクーリング内で指示		実験 簡易分光器の製作と観察			—
—	1/17, 18	後期試験：試験範囲は第4~6通レポート				1/7	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	設問の90%以上を正答できる程度に、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	設問の90%以上を正答できる程度に、十分に知識等を応用して発展的に思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して粘り強く取り組み、主体的に関わることで科学的に探究しようとする努力が認められる。
B	設問の75%以上を正答できる程度に、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	設問の75%以上を正答できる程度に、ほぼ知識等を応用して思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して多少の興味をもち、主体的に関わることで科学的に探究しようとする姿勢が見られる。
C	設問の60%以上を正答できる程度に、知識・技能の定着がみられるが、さらに努力を要する。	設問の60%以上を正答できる程度に、知識等を応用して思考・判断し、表現がみられるが、さらに努力を要する。	当該学習事項の課題等に対して取り組みは見られるが、興味をもって主体的に探究しようとするまではない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA~C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
理科	生物基礎	3	東京書籍 改訂 新編生物基礎	NHK出版 新編 生物基礎
履修上の留意点		・標準 2・3年次履修 【選択必修修科目・・+科学と人間生活, または他の基礎2科目】 ・「科学と人間生活」が修得済みであることが望ましい		
指導目標	(1) 日常生活や社会との関連を図りながら, 生物や生物現象について理解するとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度と, 生命を尊重し, 自然環境の保全に寄与する態度を養う。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接時数 12 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>メディア減免あり(なし)</small>
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する <small>参考となる</small> NHK高校講座の回
1	4/19, 20	P14~25	P8~15	生物の多様性と共通性	第1通	4/27	1~4
2	4/26, 27	P28~39	P16~27	生物とエネルギー	第2通	5/25	5~8
3	5/24, 25	P46~73	P30~48	遺伝情報とDNA	第3通	6/8	9~16
4	6/7, 8	上記頁	上記頁	レポート1~3まとめ			1~16
—	7/12, 13	前期A試験：試験範囲は第1~3通レポート				7/2	—
5	7/26, 27	P81~92, 102	P49~64	体内環境と神経系	第4通	8/24	17~19
6	8/23, 24	P92~101	P65~75	内分泌系と免疫	第5通	9/14	20~24
7	8/30, 31	P106~121	P76~81	免疫の応用	第6通	9/28	25~27
8	9/13, 14						17~27
9	9/27, 28	上記頁	上記頁	レポート4~6まとめ			17~27
—	10/11, 12	中期試験：試験範囲は第4~6通レポート				10/1	—
10	10/25, 26	P128~137	P84~87	身の回りの植生	第7通	11/9	28~31
11	11/8, 9	P138~147	P88~96	遷移とバイオーム	第8通	11/30	32~33
12	11/15, 16	P150~169	P97~108	生態系と生物の多様性	第9通	12/14	34~40
13	11/29, 30						28~40
14	12/13, 14	上記頁	上記頁	レポート7~9まとめ			28~40
—	1/17, 18	後期試験：試験範囲は第7~9通レポート				1/7	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	設問の90%以上を正答できる程度に、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	設問の90%以上を正答できる程度に、十分に知識等を応用して発展的に思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して粘り強く取り組み、主体的に関わることで科学的に探究しようとする努力が認められる。
B	設問の75%以上を正答できる程度に、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	設問の75%以上を正答できる程度に、ほぼ知識等を応用して思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して多少の興味をもち、主体的に関わることで科学的に探究しようとする姿勢が見られる。
C	設問の60%以上を正答できる程度に、知識・技能の定着がみられるが、さらに努力を要する。	設問の60%以上を正答できる程度に、知識等を応用して思考・判断し、表現がみられるが、さらに努力を要する。	当該学習事項の課題等に対して取り組みは見られるが、興味をもって主体的に探究しようとするまではいかない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA~C, 期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
理科	化学基礎	3	東京書籍 改訂 新編化学基礎	NHK出版 新編 化学基礎
履修上の留意点		・標準 3年次履修 【選択必修科目・・+科学と人間生活, または他の基礎2科目】 ・「フードデザイン」との選択 ・「科学と人間生活」が修得済みであることが望ましい		
指導目標	(1) 日常生活や社会との関連を図りながら, 物質とその変化について理解するとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を養う。 (3) 物質とその変化に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を養う。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接時数 12 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>メディア(減免あり)なし</small>
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する / 参考となる NHK高校講座の回
1	4/19, 20	P24~44	P6~20	物質の成分と構成元素	第1通	5/11	2,3,4,5
2	5/10, 11	P46~57	P22~33	原子の構造と元素の周期表	第2通	5/25	6,7,8,9
3	5/24, 25	P58~89	P34~55	化学結合	第3通	6/8	10,11,12,14,16
4	6/7, 8	P96~107	P58~68	原子量・分子量・式量・物質量(mol)	第4通	7/21	17,18,19,20
5	7/5, 6						スクーリングに出席
6	7/12, 13	P112~122	P69~82	溶液の濃度と化学反応式の量的関係	第5通	8/17	21,22,23
7	7/26, 27						スクーリングに出席
8	8/23, 24	レポートNo1~5のまとめ・復習					スクーリングに出席
—	8/30, 31	前期B試験 : 試験範囲は第1~5通レポート				8/20	テストに出席
9	9/13, 14	P124~135	P83~91	酸と塩基・水素イオン濃度とpH	第6通	9/28	25, 26, 21
10	9/27, 28	P136~152	P92~101	中和反応	第7通	11/26	27, 28, 29, 30
11	10/11, 12						スクーリングに出席
12	10/25, 26	P154~169	P102~109	酸化と還元	第8通	11/30	33, 34, 35,
13	11/15, 16						スクーリングに出席
14	11/29, 30	P170~197	P110~121	酸化還元反応の応用と化学が拓く世界	第9通	12/14	36, 37, 38, 39, 40
15	12/13, 14						レポートNo6~9のまとめ・復習
—	1/17, 18	後期試験 : 試験範囲は第6~9通レポート				1/7	テストに出席

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	設問の90%以上を正答できる程度に、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	設問の90%以上を正答できる程度に、十分に知識等を応用して発展的に思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して粘り強く取り組み、主体的に関わることで科学的に探究しようとする努力が認められる。
B	設問の75%以上を正答できる程度に、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	設問の75%以上を正答できる程度に、ほぼ知識等を応用して思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して多少の興味をもち、主体的に関わることで科学的に探究しようとする姿勢が見られる。
C	設問の60%以上を正答できる程度に、知識・技能の定着がみられるが、さらに努力を要する。	設問の60%以上を正答できる程度に、知識等を応用して思考・判断し、表現がみられるが、さらに努力を要する。	当該学習事項の課題等に対して取り組みは見られるが、興味をもって主体的に探究しようとするまではいかない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA~C, 期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
理科	物理基礎	3	東書 改訂 新編物理基礎	NHK出版 改訂 新編物理基礎
履修上の留意点		・標準 4年次履修 【選択必履修科目・・+科学と人間生活, または他の基礎2科目】 ・「地理探究」との選択 ・「数学Ⅱ」を同時履修か、単位修得済であることを強く推奨		
指導目標	(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。			

年間指導計画								
スクーリング (最低面接時数 12 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>対応あり/なし</small>	
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	<small>対応あり/参考となる NHK高校講座の回</small>	
1	4/19・20	P8~17	P20~37	直線運動の世界①	第1通	5/11	1 2 3	
2	5/10・11	P18~33	P38~63	直線運動の世界②	第2通	5/25	4 5 6	
3	5/24・25	P34~49	P64~89	力と運動の法則①	第3通	6/8	7 8 9	
4	6/7・8	P50~73	P90~118	力と運動の法則②	第4通	6/22	10 11 12	
5	6/21・22	P74~81	P119~155	力学的エネルギー	第5通	6/29	スクーリング登校	
6	7/5・6	P82~95	上記全頁	学習のまとめ			スクーリング登校	
—	7/12・13	前期A試験 : 試験範囲は第1~5通レポート					7/2	テストに出席
7	7/26・27	P96~109	P158~181	熱と状態変化	第6通	8/24	20 21 22	
8	8/30・31	P110~117	P182~193	波	第7通	9/28	24~29	
9	9/27・28	P118~135	P194~215				スクーリング登校	
10	10/11・12	136~145	P216~239	電流と電圧 電気抵抗	第8通	11/9	スクーリング登校	
11	11/8・9	P146~157	P240~254	電流が作る磁場 電磁誘導	第9通	11/30	34 35 36	
12	11/15・16	158~169	P255~267	エネルギーとその利用			第10通	12/14
13	11/29・30	P182~185	上記全頁	探究活動			スクーリング登校	
14	12/13・14		上記全頁	学習のまとめ			スクーリング登校	
—	1/10・11	後期試験 : 試験範囲は第6~10通レポート					12/24	テストに出席

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	設問の90%以上を正答できる程度に、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	設問の90%以上を正答できる程度に、十分に知識等を応用して発展的に思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して粘り強く取り組み、主体的に関わることで科学的に探究しようとする努力が認められる。
B	設問の75%以上を正答できる程度に、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	設問の75%以上を正答できる程度に、ほぼ知識等を応用して思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して多少の興味をもち、主体的に関わることで科学的に探究しようとする姿勢が見られる。
C	設問の60%以上を正答できる程度に、知識・技能の定着がみられるが、さらに努力を要する。	設問の60%以上を正答できる程度に、知識等を応用して思考・判断し、表現がみられるが、さらに努力を要する。	当該学習事項の課題等に対して取り組みは見られるが、興味をもって主体的に探究しようとするまではいかない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA~C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
体育	体育①	2or3	大修館 現代高等保健体育 改訂版	(大修館 Active sports 2026)
履修上の留意点		・標準 1年次履修 【 必修科目 合計7単位 】		
指導目標	(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接時数 10 or15回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>デイケアあり</small>
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	
1	5/10, 11	スクーリング内で指示		オリエンテーション	第1通	7/22	なし
2	6/7, 8			体づくり運動(選択)			
3	6/21, 22			バドミントン・卓球			
4	7/5, 6			バスケットボール・バレーボール			
5	7/26, 27						
—	8/23, 24	前期B試験 : 試験範囲は第1通レポート				8/6	—
6	8/30, 31	スクーリング内で指示		体づくり運動(選択)	第2通	12/2	なし
7	9/27, 28			バドミントン・卓球			
8	10/25, 26			バスケットボール・バレーボール			
9	11/8, 9						
10	11/15, 16			()内は3単位履修者 (第3通)			
—	1/10, 11	後期試験 : 試験範囲は第2通(3単位は第2,3通)レポート				12/24	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※Eのままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	①レポートにおいては設問の90%、テストにおいては60%以上を正答できるほど、基礎的基本的な知識・技能が十分に定着している。 ②種目のルール、運営の仕方が十分に定着している。	①設問の思考力・判断力・表現力が十分にある。 ②球技の学習で自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむためのかかわり方が十分に定着している。	①十分な記述量がある(欄の60%以上) ②球技の学習に主体的に取り組んでフェアなプレイを十分に大切にしている。 ③危険の予測をしながら健康・安全の確保を十分にしている。
B	①レポートにおいては設問の75%、テストにおいては59~30%以上を正答できるほど、基礎的基本的な知識・技能が定着している。 ②種目のルール、運営の仕方が定着している。	①設問の思考力・判断力・表現力がある。 ②球技の学習で自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむためのかかわり方が定着している。	①ある程度の記述がある(欄の60~30%以上) ②球技の学習に主体的に取り組んでフェアなプレイを大切にしている。 ③危険の予測をしながら健康・安全の確保をしている。
C	①レポートにおいては設問の74%、テストにおいては29%以下であり、基礎的基本的な知識・技能の定着が不十分である。 ②種目のルール、運営の仕方の定着が不十分である。	①設問の思考力・判断力・表現力の定着が不十分である。 ②球技の学習で自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむためのかかわり方の定着が不十分である。	①不十分な記述量である(欄の29%以下) ②球技の学習に主体的に取り組む態度が感じられない。 ③危険の予測や健康・安全を考えて行動できない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が50%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA~C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
体育	体育②	2or3	大修館 現代高等保健体育 改訂版	(大修館 Active sports 2026)
履修上の留意点		・標準 2年次履修 【必修科目 合計7単位】		
指導目標	(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接時数 10 or15回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)	視聴メディア <small>※伊減免あり</small>	
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	
1	4/26, 27	スクーリング内で指示		オリエンテーション	第1通	7/2	なし
2	6/7, 8			体づくり運動(選択)			
3	6/21, 22			バドミントン・卓球			
4	7/5, 6			バスケットボール・バレーボール			
5	7/13, 14						
5	7/12, 13						
—	7/26, 27	前期A試験：試験範囲は第1通レポート				7/16	—
6	8/23, 24	スクーリング内で指示		体づくり運動(選択)	第2通 (第3通)	12/2 (12/9)	なし
7	8/30, 31			バドミントン・卓球			
8	9/13, 14			バスケットボール・バレーボール			
9	9/27, 28						
10	10/11, 12						
11	10/25, 26						
12	11/8, 9						
13	11/15, 16						
14	12/13, 14						
—	1/10, 11	後期試験：試験範囲は第2通(3単位は第2,3通)レポート				12/24	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※Eのままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	①レポートにおいては設問の90%、テストにおいては60%以上を正答できるほど、基礎的基本的な知識・技能が十分に定着している。 ②種目のルール、運営の仕方が十分に定着している。	①設問の思考力・判断力・表現力が十分にある。 ②球技の学習で自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむためのかかわり方が十分に定着している。	①十分な記述量がある(欄の60%以上) ②球技の学習に主体的に取り組んでフェアなプレイを十分に大切にしている。 ③危険の予測をしながら健康・安全の確保を十分にしている。
B	①レポートにおいては設問の75%、テストにおいては59~30%以上を正答できるほど、基礎的基本的な知識・技能が定着している。 ②種目のルール、運営の仕方が定着している。	①設問の思考力・判断力・表現力がある。 ②球技の学習で自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむためのかかわり方が定着している。	①ある程度の記述がある(欄の60~30%以上) ②球技の学習に主体的に取り組んでフェアなプレイを大切にしている。 ③危険の予測をしながら健康・安全の確保をしている。
C	①レポートにおいては設問の74%、テストにおいては29%以下であり、基礎的基本的な知識・技能の定着が不十分である。 ②種目のルール、運営の仕方の定着が不十分である。	①設問の思考力・判断力・表現力の定着が不十分である。 ②球技の学習で自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむためのかかわり方の定着が不十分である。	①不十分な記述量である(欄の29%以下) ②球技の学習に主体的に取り組む態度が感じられない。 ③危険の予測や健康・安全を考えて行動できない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が50%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA~C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
体育	体育③	2or3	大修館 現代高等保健体育 改訂版	(大修館 Active sports 2026)
履修上の留意点		・標準 3年次履修【必修科目 合計7単位】		
指導目標	(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接時数 10 or15回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア 対応する(参考となる) NHK高校講座の回
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	
1	4/26, 27	スクーリング内で指示		オリエンテーション	第1通	7/2	なし
2	6/7, 8			体づくり運動(選択)			
3	6/21, 22			バドミントン・卓球			
4	7/5, 6			バスケットボール・バレーボール			
5	7/12, 13						
—	7/26, 27	前期A試験：試験範囲は第1通レポート				7/16	—
6	8/23, 24	スクーリング内で指示		体づくり運動(選択)	第2通	12/2	なし
7	8/30, 31			バドミントン・卓球			
8	9/13, 14			バスケットボール・バレーボール			
9	9/27, 28						
10	10/11, 12						
11	10/25, 26						
12	11/8, 9						
13	11/15, 16						
14	11/29, 30		()内は3単位履修者	第3通	(12/9)		
—	1/11, 12	後期試験：試験範囲は第2通(3単位は第2,3通)レポート				12/24	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※Eのままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	①レポートにおいては設問の90%、テストにおいては60%以上を正答できるほど、基礎的基本的な知識・技能が十分に定着している。 ②種目のルール、運営の仕方が十分に定着している。	①設問の思考力・判断力・表現力が十分にある。 ②球技の学習で自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむためのかかわり方が十分に定着している。	①十分な記述量がある(欄の60%以上) ②球技の学習に主体的に取り組んでフェアなプレイを十分に大切にしている。 ③危険の予測をしながら健康・安全の確保を十分にしている。
B	①レポートにおいては設問の75%、テストにおいては59~30%以上を正答できるほど、基礎的基本的な知識・技能が定着している。 ②種目のルール、運営の仕方が定着している。	①設問の思考力・判断力・表現力がある。 ②球技の学習で自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむためのかかわり方が定着している。	①ある程度の記述がある(欄の60~30%以上) ②球技の学習に主体的に取り組んでフェアなプレイを大切にしている。 ③危険の予測をしながら健康・安全の確保をしている。
C	①レポートにおいては設問の74%、テストにおいては29%以下であり、基礎的基本的な知識・技能の定着が不十分である。 ②種目のルール、運営の仕方の定着が不十分である。	①設問の思考力・判断力・表現力の定着が不十分である。 ②球技の学習で自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむためのかかわり方の定着が不十分である。	①不十分な記述量である(欄の29%以下) ②球技の学習に主体的に取り組む態度が感じられない。 ③危険の予測や健康・安全を考えて行動できない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が50%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA~C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
体育	体育④	2	大修館 現代高等保健体育 改訂版	(大修館 Active sports 2026)
履修上の留意点		・標準 4年次履修 【必修科目 合計7単位】		
指導目標	(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接時数 10 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)	視聴メディア <small>メディア減免あり</small>	
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する <small>参考となる</small> NHK高校講座の回
1	4/26, 27	スクーリング内で指示		オリエンテーション	第1通	7/2	なし
2	6/7, 8			体づくり運動(選択)			
3	6/21, 22			バドミントン・卓球			
4	7/5, 6			バスケットボール・バレーボール			
5	7/12, 13						
—	7/26, 27	前期A試験 : 試験範囲は第1通レポート				7/16	—
6	8/23, 24	スクーリング内で指示		体づくり運動(選択)	第2通	12/16	なし
7	9/13, 14			バドミントン・卓球			
8	10/11, 12			バスケットボール・バレーボール			
9	10/25, 26						
10	11/8, 9						
11	11/15, 16						
12	12/13, 14						
—	1/17, 18	後期試験 : 試験範囲は第2通レポート				1/7	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※Eのままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	①レポートにおいては設問の90%、テストにおいては60%以上を正答できるほど、基礎的基本的な知識・技能が十分に定着している。 ②種目のルール、運営の仕方が十分に定着している。	①設問の思考力・判断力・表現力が十分にある。 ②球技の学習で自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむためのかかわり方が十分に定着している。	①十分な記述量がある(欄の60%以上) ②球技の学習に主体的に取り組んでフェアなプレイを十分に大切にしている。 ③危険の予測をしながら健康・安全の確保を十分にしている。
B	①レポートにおいては設問の75%、テストにおいては59~30%以上を正答できるほど、基礎的基本的な知識・技能が定着している。 ②種目のルール、運営の仕方が定着している。	①設問の思考力・判断力・表現力がある。 ②球技の学習で自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむためのかかわり方が定着している。	①ある程度の記述がある(欄の60~30%以上) ②球技の学習に主体的に取り組んでフェアなプレイを大切にしている。 ③危険の予測をしながら健康・安全の確保をしている。
C	①レポートにおいては設問の74%、テストにおいては29%以下であり、基礎的基本的な知識・技能の定着が不十分である。 ②種目のルール、運営の仕方の定着が不十分である。	①設問の思考力・判断力・表現力の定着が不十分である。 ②球技の学習で自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむためのかかわり方の定着が不十分である。	①不十分な記述量である(欄の29%以下) ②球技の学習に主体的に取り組む態度が感じられない。 ③危険の予測や健康・安全を考えて行動できない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が50%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA~C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
体育	保健	2	大修館 現代高等保健体育 改訂版	なし
履修上の留意点		標準 1年次履修 【必修科目】		
指導目標	(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接時数 3回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>7/7減免あり</small> な
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する <small>参考とみなす</small> NHK高校講座の回
1	4/26, 27	P4~25	なし	私たちの健康のすがた ～休養・睡眠と健康	第1通	5/27	1~5
2	6/21, 22	P26~57		喫煙と健康 ～日常的な応急手当	第2通	7/8	10, 18, 19, 26
3	7/12, 13	P58~73		交通事故の現状と要因 ～心の健康と自己実現	第3通	8/5	22~25
4	7/26, 27	P74~97		思春期と健康 ～高齢者のための社会的とりくみ	第4通	9/2	30~33
—	9/13, 14	前期試験 : 試験範囲は第1~3通レポート				9/3	—
5	10/11, 12	P98~124	なし	水質汚濁・土壌汚染と健康 ～健康被害の防止と環境対策	第5通	11/10	35~37
6	11/8, 9	P125~129		保健制度と保健サービスの活用 ～健康的な職業生活	第6通	12/2	39~42
7	12/13, 14	P74~129		まとめ			30~42
—	1/17, 18	後期試験 : 試験範囲は第4~6通レポート				1/7	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※Eのままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	①レポートにおいては設問の90%、テストにおいては60%以上を正答できるほど、基礎的基本的な知識・技能が十分に定着している。 ②種目のルール、運営の仕方が十分に定着している。	①設問の思考力・判断力・表現力が十分にある。 ②健康についてそれにかかわる事象や情報が十分に定着している。	①十分な記述量がある(欄の60%以上) ②自他の健康保持増進や回復に主体的に取り組んでいる。 ③健康な体づくり主体的に取り組んでいる。
B	①レポートにおいては設問の75%、テストにおいては59~30%以上を正答できるほど、基礎的基本的な知識・技能が定着している。 ②種目のルール、運営の仕方が定着している。	①設問の思考力・判断力・表現力がある。 ②健康についてそれにかかわる事象や情報が十分に定着している。	①ある程度の記述がある(欄の60~30%以上) ②自他の健康保持増進や回復に取り組んでいる ③健康な体づくりに取り組んでいる。
C	①レポートにおいては設問の74%、テストにおいては29%以下であり、基礎的基本的な知識・技能の定着が不十分である。 ②種目のルール、運営の仕方の定着が不十分である。	①設問の思考力・判断力・表現力の定着が不十分である。 ②健康についてそれにかかわる事象や情報の定着が不十分である。	①不十分な記述量である(欄の29%以下) ②自他の健康保持増進や回復に取り組む態度が感じられない。 ③健康な体づくりの予測や健康・安全を考えて行動できない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が50%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA~C, 期限外ならEX. 再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
芸術	音楽 I	2	大修館 音楽 I 改訂版Tutti+	NHK出版 音楽 I Tutti+
履修上の留意点		標準 1・2年次履修 【美術 I, 書道 I との選択必修科目】		
指導目標	(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接回数 8 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する NHK高校講座の回
1	5/10, 11	P8・9	p11～	「楽典」「少年時代」	第1通	6/22	1～3, 6
2	6/7, 8	P141～143	—				
3	7/5, 6	P112 P114～116	P76～	「西洋音楽史」「三味線」	第2通	7/27	5, 8, 12
4	7/12, 13	P30・40・42	P84～	「野ばら」「サンタルチア」	第3通	8/31	14, 15
5	8/23, 24	P32・117 P118・124	—	「古典・ロマン派の音楽」			
—	9/13, 14	前期B試験：試験範囲は第1～3通レポート				9/3	—
6	9/27, 28	P14・15 P16.23	P17,22	「この道」「浜辺の歌」「故郷(ふるさと)」	第4通	10/26	7, 24
7	10/11, 12	P66.67 P106.107	P108～	「明治以降の音楽」「日本の伝統音楽」			
8	10/25, 26	P12.13 P26.28	P126～	「日本の民謡」「発声とボイストレーニング」	第5通	11/24	10, 17, 33
9	11/8, 9	P58・132・133	—	オペラ「魔笛」ミュージカル「オペラ座の怪人」			
10	11/15, 16	P50～52・57 P146	—	「アジアの歌」「ポピュラー音楽」	第6通	12/23	11, 13, 36, 37
11	12/13, 14	P136・137 P139	—	「世界の声」			
—	1/17, 18	後期試験：試験範囲は第4～6通レポート				1/7	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準（※Eのままでは単位修得不可）			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	設問の90%以上を正答できる程度に、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	設問の90%以上を正答できる程度に、十分に知識等を応用して発展的に思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して粘り強く取り組み、主体的に関わることで音楽的に探究しようとする努力が認められる。
B	設問の75%以上を正答できる程度に、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	設問の75%以上を正答できる程度に、ほぼ知識等を応用して思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して多少の興味をもち、主体的に関わることで音楽的に探究しようとする姿勢が見られる。
C	設問の60%以上を正答できる程度に、知識・技能の定着がみられるが、さらに努力を要する。	設問の60%以上を正答できる程度に、知識等を応用して思考・判断し、表現がみられるが、さらに努力を要する。	当該学習事項の課題等に対して取り組みは見られるが、興味をもって主体的に探究しようとするまではいかない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。再提出の合格がレポートの締切期限以内ならA～C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
芸術	美術 I	2	日文 新・高校生美術 I	NHK出版 高校生美術 I
履修上の留意点		・標準 1・2年次履修 【音楽 I, 書道 I との選択必修科目】		
指導目標	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接時数 8 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>マイ減免あり</small>
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する <small>参考となる</small> NHK高校講座の回
1	5/10, 11	P130 P150～151	スクーリング 内で指示	「ペン画」	第1通	6/22	1
2	6/7, 8	P68～89		「ファッションデザインと色彩」	第2通	7/27	4, 6
3	7/5, 6	P152～154		「鉛筆デッサン」	第3通	8/31	5, 16
4	7/12, 13	P132～135					
5	8/23, 24	P149					
—	9/13, 14	前期B試験 : 試験範囲は第1～3通レポート				9/3	—
6	9/27, 28	P12～17	スクーリング 内で指示	「風景画と遠近法」	第4通	10/26	7
7	10/11, 12	P86～89		「新種の蝶の標本」	第5通	11/24	9, 15
8	10/25, 26			「未来」「夢」をテーマに描く	第6通	12/23	17～20
9	11/8, 9	P145					
10	11/15, 16						
11	12/13, 14						
—	1/17, 18	後期試験 : 試験範囲は第4～6通レポート				1/7	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	設問の90%以上を正答できる程度に、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	設問の90%以上を正答できる程度に、十分に知識等を応用して発展的に思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して粘り強く取り組み、主体的に関わることで美術的に探究しようとする努力が認められる。
B	設問の75%以上を正答できる程度に、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	設問の75%以上を正答できる程度に、ほぼ知識等を応用して思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して多少の興味をもち、主体的に関わることで美術的に探究しようとする姿勢が見られる。
C	設問の60%以上を正答できる程度に、知識・技能の定着がみられるが、さらに努力を要する。	設問の60%以上を正答できる程度に、知識等を応用して思考・判断し、表現がみられるが、さらに努力を要する。	当該学習事項の課題等に対して取り組みは見られるが、興味をもって主体的に探究しようとするまではいかない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。再提出の合格がレポートの締切期限以内ならA～C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
芸術	書道 I	2	東書 書道 I	NHK出版 書道 I
履修上の留意点 ・標準 1・2年次履修 【音楽 I, 美術 I との選択必修科目】				
指導目標	(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) 書のおさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書のおを味わい捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接回数 8 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>メディア減免あり(なし)</small>
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する <small>参考となる NHK高校講座の回</small>
1	5/10, 11	P4~9	P12,98	書道で学ぶこと・漢字と仮名の調和 実技課題1 「夢のかけ橋」ほか	第1通	6/22	1~2, 19
2	6/7, 8	P17~27	P22~29	楷書 表現を比べよう	第2通	7/27	3~4
3	7/5, 6			実技課題2 「清泉」ほか			
4	7/12, 13	P34~35	P30~45	唐の四大家	第3通	8/31	5~6
5	8/23, 24			実技課題3 「大道」ほか			
—	9/13, 14	前期B試験 : 試験範囲は第1~3通レポート				9/3	—
6	9/27, 28	P42~43	P46~49	行書の特徴	第4通	10/26	7
7	10/11, 12			実技課題4 「永和」ほか			
8	10/25, 26	P44~55	P50~56	さまざまな行書	第5通	11/24	8
9	11/8, 9			実技課題5 「氣清」ほか			
10	11/15, 16	P80~85	P74~83	仮名の成立	第6通	12/23	14~16
11	12/13, 14			実技課題6 「いろはにほへ」ほか			
—	1/17, 18	後期試験 : 試験範囲は第4~6通レポート				1/7	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	設問の90%以上を正答できる程度に、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	設問の90%以上を正答できる程度に、十分に知識等を応用して発展的に思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して粘り強く取り組み、主体的に関わることで書道的に探究しようとする努力が認められる。
B	設問の75%以上を正答できる程度に、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	設問の75%以上を正答できる程度に、ほぼ知識等を応用して思考・判断し、表現できている。	当該学習事項の課題等に対して多少の興味をもち、主体的に関わることで書道的に探究しようとする姿勢が見られる。
C	設問の60%以上を正答できる程度に、知識・技能の定着がみられるが、さらに努力を要する。	設問の60%以上を正答できる程度に、知識等を応用して思考・判断し、表現がみられるが、さらに努力を要する。	当該学習事項の課題等に対して取り組みは見られるが、興味をもって主体的に探究しようとするまではいかない。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。再提出の合格がレポートの締切期限以内ならA~C, 期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
外語	英語コミュニケーション I	3	東書 All Aboard! English Communication I Revised	NHK出版 All Aboard! English Communication I
履修上の留意点 ・標準 1・3年次履修 【必履修科目】				
指導目標	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			

年間指導計画								
スクーリング (最低面接時数 12 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>教材減免あり</small>	
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する <small>参考となる</small> NHK高校講座の回	
1	5/10, 11	P10~15	P8~14	Pre-Lesson1&2	第1通	5/21	1~3	
2	5/24, 25	P16~23	P16~23	Lesson1	第2通	6/4	4~5	
3	6/7, 8	P24~33	P24~31	Lesson2	第3通	6/18	6~7	
4	6/21, 22	P34~41	P32~39	Lesson3	第4通	7/16	8~9	
5	7/5, 6							
6	7/12, 13	P44~53	P40~47	Lesson4	第5通	8/6	10~16	
7	7/26, 27							
8	8/23, 24	上記頁	上記頁	テスト対策	1~5通		1~16	
—	8/30, 31	前期B試験：試験範囲は第1~5通レポート					8/20	—
9	9/13, 14	P56~65	P48~59	Lesson5	第6通	9/24	17~20	
10	10/11, 12	P74~83	P60~67	Lesson6	第7通	10/22	21~22	
11	10/25, 26	P84~93	P68~75	Lesson7	第8通	11/19	23~25	
12	11/8, 9							
13	11/15, 16	P94~103	P76~83	Lesson8	第9通	12/10	26~27	
14	11/29, 30							
15	12/13, 14	上記頁	上記頁	テスト対策	6~9通		17~27	
—	1/10, 11	後期試験：試験範囲は第6通~9通レポート					12/24	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準（※Eのままでは単位修得不可）			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	・基礎的基本的な語彙・表現・文法等の知識技能が十分に定着している。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を的確に読み取ったり、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現することができる。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を的確に読み取ったり、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現したりしようとしている。 ・指定された英文の数より多くの文を書いている。また、英文は指定された文法を用い、理解しやすい記述である。 ・モデルの文章を参考に、主体的に自分の考えを深め、記述している。
B	・基礎的基本的な語彙・表現・文法等の知識技能が定着している。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を読み取ったり、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現することがほぼできる。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を読み取ったり、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現したりしようとしている。 ・指定された数の英文を書いている。また、英文は指定された文法を用いている。多少のミスがあるが、理解できる記述となっている。 ・モデルの文章と同程度の英文を記述している。
C	・基礎的基本的な語彙・表現・文法等の知識技能の定着が一部みられるがさらに努力を要する。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を的確に読むことが難しい。また、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現することができないため、さらに努力を要する。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を読み取ることが難しく、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現しようとしていない。 ・指定された数の英文を書いている。また、英文は指定された文法が用いられている。しかし、ミスが多く英文の内容が読み取れない。 ・モデルの文章と同程度の英文を記述がされていないため、さらに努力を要する
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。再提出の合格がレポートの締切期限以内ならA~C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
外語	英語コミュニケーションⅡ	4	東書 All Aboard! English Communication Ⅱ	NHK出版 All Aboard! English Communication Ⅱ
履修上の留意点		・標準 4年次履修 ・簿記との選択履修		
指導目標	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			

年間指導計画								
スクーリング (最低面接回数 16回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>対応する / 参考となる NHK高校講座の回</small>	
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限		
1	4/19, 20	P10~17	P12~19	Lesson1	第1通	4/30	3~5	
2	4/26, 27	P20~27	P20~29	Lesson2	第2通	5/7	6~8	
3	5/10, 11	P10~27	P12~29	Lesson1&2	1~2通		3~8	
4	5/24, 25	P30~41	P30~37	Lesson3	第3通	6/4	9~11	
5	6/7, 8	P42~51	P38~47	Lesson4	第4通	6/18	12~14	
6	6/21, 22	P56~67	P48~65	Lesson5	第5通	7/1	16~19	
7	7/5, 6	P30~67	P30~65	Lesson3~5	3~5通		9~19	
—	7/12, 13	前期A試験：試験範囲は第1~5通レポート					7/2	—
8	7/26, 27	P78~89	P66~77	Lesson6	第6通	8/6	20~23	
9	8/23, 24	P92~103	P78~89	Lesson7	第7通	9/3	24~27	
10	8/30, 31	P78~103	P66~89	Lesson6&7	6~7通		20~27	
11	9/13, 14	P106~119	P90~101	Lesson8	第8通	9/24	28~31	
12	9/27, 28	P120~132	P102~113	Lesson9	第9通	10/8	32~35	
13	10/11, 12				第10通	10/22	32~35	
14	10/25, 26	P106~132	P90~113	Lesson8&9	8~10通		28~35	
15	11/8, 9	P134~147	P114~125	Lesson10	第11通	11/19	37~40	
16	11/15, 16				第12通	11/26	37~40	
17	11/29, 30	P106~147	P90~125	Lesson8~10	8~12通		28~40	
18	12/13, 14	上記頁	上記頁	Lesson6~10	6~12通		20~40	
—	1/17~18	後期試験：試験範囲は第6通~12通レポート					1/7	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※Eのままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	・基礎的基本的な語彙・表現・文法等の知識技能が十分に定着している。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を的確に読み取ったり、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現することができる。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を的確に読み取ったり、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現したりしようとしている。 ・指定された英文の数より多くの文を書いている。また、英文は指定された文法を用い、理解しやすい記述である。 ・モデルの文章を参考に、主体的に自分の考えを深め、記述している。
B	・基礎的基本的な語彙・表現・文法等の知識技能が定着している。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を読み取ったり、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現することができる。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を読み取ったり、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現しようとしている。 ・指定された数の英文を書いている。また、英文は指定された文法を用いている。多少のミスがあるが、理解できる記述となっている。 ・モデルの文章と同程度の英文を記述している。
C	・基礎的基本的な語彙・表現・文法等の知識技能の定着が一部みられるがさらに努力を要する。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を的確に読むことが難しい。また、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現することができないため、さらに努力を要する。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を読み取ることが難しく、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現することができない。 ・英文は指定された文法が用いられているが、ミスが多く英文の内容が読み取りづらい。 ・モデルの文章と同程度の記述がされていないため、さらに努力を要する。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。再提出の合格がレポートの締切期限以内ならA~C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
外語	論理・表現 I	2	東書 NEW FAVORITE English Logic and Expression I Revised	なし
履修上の留意点		・標準 2年次履修 ・「数学 I ②」との選択		
指導目標	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接時数 8 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>教材減免あり</small> <small>なし</small>
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する <small>参考と</small> NHK高校講座の回
1	5/10, 11	P20～25	なし	Lesson2	第1通	5/21	3
2	5/24, 25	P26～31		Lesson3	第2通	6/18	4
3	6/7, 8	P32～37		Lesson4	第3通	7/16	5
4	6/21, 22	P38～43		Lesson5			6
5	7/5, 6	P44～49		Lesson6			10
—	8/30, 31	前期B試験 : 試験範囲は第1～3通レポート				8/20	—
6	9/27, 28	P50～55	なし	Lesson7	第4通	10/22	13
7	10/11, 12	P56～61		Lesson8	第5通	11/19	14
8	10/25, 26	P62～67		Lesson9			15
9	11/8, 9	P68～73		Lesson10			17
10	11/15, 16	P112～117		Unit2, Lesson5	第6通	11/26	33
11	12/13, 14	上記頁		試験対策	4～6通		13～15, 17, 33
—	1/10, 11	後期試験 : 試験範囲は第4～6通レポート				12/24	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	・基礎的基本的な語彙・表現・文法等の知識技能が十分に定着している。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を的確に読み取ったり、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現することができる。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を的確に読み取ったり、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現したりしようとしている。 ・モデルの文章を参考に、主体的に自分の考えを深め、記述している。
B	・基礎的基本的な語彙・表現・文法等の知識技能が定着している。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を読み取ったり、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現することがほぼできる。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を読み取ったり、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちをほぼ表現したりしようとしている。 ・モデルの文章と同程度の英文を記述している。
C	・基礎的基本的な語彙・表現・文法等の知識技能の定着が一部みられるがさらに努力を要する。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を的確に読むことが難しい。また、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現することができないため、さらに努力を要する。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を読み取ることが難しく、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現しようとしていない。 ・ミスが多く英文の内容が読み取りづらい。 ・モデルの文章と同程度の記述がされていないため、さらに努力を要する。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。再提出の合格がレポートの締切期限以内ならA～C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
外語	論理・表現Ⅱ	3	東書 NEW FAVORITE English Logic and ExpressionⅡ	なし
履修上の留意点		標準 3年次履修		
指導目標	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接回数 12回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>メディア減免あり</small> 対応する参考となる NHK高校講座の回
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	
1	4/19, 20	P12~15	なし	Lesson2	第1通	4/30	なし
2	4/26, 27	P16~19		Lesson3	第2通	5/7	
3	5/10, 11	P12~19		Communication Activity(1. 2)	1~2通		
4	5/24, 25	P20~23		Lesson4	第3通	6/4	
5	6/7, 8	P24~27		Lesson5	第4通	6/18	
6	6/21, 22	P20~27		Communication Activity(3. 4)	3~4通		
7	7/26, 27	上記頁		前期試験対策	1~4通		
—	8/23, 24	前期B試験：試験範囲は第1~4通レポート				8/6	—
8	8/30, 31	P28~31	なし	Lesson6	第5通	9/10	なし
9	9/27, 28	P36~39		Lesson8	第6通	10/8	
10	10/11, 12	P28~39		Communication Activity(5. 6)	5~6通		
11	10/25, 26	P40~43		Lesson9	第7通	11/5	
12	11/8, 9	P44~47		Lesson10	第8通	11/19	
13	11/15, 16	P52~55		Lesson12	第9通	11/26	
14	11/29, 30	P40~55		Communication Activity(7. 8. 9)	7~9通		
15	12/13, 14	上記頁		後期試験対策	5~9通		
—	1/17, 18	後期試験：試験範囲は第5~9通レポート				1/7	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準（※Eのままでは単位修得不可）			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	・基礎的基本的な語彙・表現・文法等の知識技能が十分に定着している。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を的確に読み取ったり、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現することができる。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を的確に読み取ったり、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現したりしようとしている。 ・指定された内容の文を書いている。また、英文は、理解しやすい記述である。 ・モデルの文章を参考に、主体的に自分の考えを深め、記述している。
B	・基礎的基本的な語彙・表現・文法等の知識技能が定着している。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を読み取ったり、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現することがほぼできる。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を読み取ったり、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちをほぼ表現しようとしている。 ・指定された内容の英文を書いている。また、英文は多少のミスがあるが、理解できる記述となっている。 ・モデルの文章と同程度の英文を記述している。
C	・基礎的基本的な語彙・表現・文法等の知識技能の定着が一部みられるがさらに努力を要する。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を的確に読むことが難しい。また、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現することができないため、さらに努力を要する。	・課題に対し、目的・場面・状況に応じて、英文を読み取ることが難しく、読んだり聞いたりして得られた情報に基づき、自分の考えや気持ちを表現しようとしていない。 ・指定された内容の英文を書いている。しかし、英文はミスが多く、内容が読み取りづらい。 ・モデルの文章と同程度の記述がされていないため、さらに努力を要する。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。再提出の合格がレポートの締切期限以内ならA~C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
家庭	家庭総合	4	東書 家庭総合 自立・共生・創造	(実教 2026 生活学 Navi)
履修上の留意点		・標準 2年次履修 【必履修科目】		
指導目標	(1)人の一生と家族・家庭及び福祉, 衣食住, 消費生活・環境などについて, 生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに, それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。 (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し, 解決策を構想し, 実践を評価・改善し, 考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど, 生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3)様々な人々と協働し, よりよい社会の構築に向けて, 地域社会に参画しようとするとともに, 生活文化を継承し, 自分や家庭, 地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接回数 8回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>メディア減免あり</small>
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する <small>参考となる</small> NHK高校講座の回
1	4/26, 27	P10~19 P20~43	副教材については スクーリング 内で指示	生涯を見通す・人生をつくる	第1通	5/8	1~8
2	5/10, 11	P44~75		子どもと共に育つ	第2通	5/21	9~12
3	5/24, 25	P76~93 P94~101		超高齢社会を共に生きる 共に生き共に支える	第3通	6/4	13~16
4	6/7, 8	P232~255		経済生活を営む	第4通	6/18	36~38
5	7/5, 6	P204~227		住生活をつくる	第5通	7/16	31~32
6	7/26, 27	P248~253		お金との上手な付き合い方	視聴①	/	37, 38
—	8/23, 24	前期B試験 : 試験範囲は第1~5通レポート				8/6	—
7	9/27, 28	P162~175	副教材については スクーリング 内で指示	衣生活をつくるⅠ	第6通	10/8	25~27
8	10/11, 12	P171~172 P176~181		衣生活をつくるⅡ	第7通	10/22	28~30
9	10/25, 26	P104~113		食生活をつくるⅠ	第8通	11/5	19~24
10	11/8, 9	P114~118		食生活をつくるⅡ	第9通	11/19	19~24
11	11/15, 16	P134~139		調理の基本	視聴②	/	22
12	11/29, 30	P118~133		食生活をつくるⅢ	第10通	12/14	19~24
13	12/13, 14	P130	食事バランスガイドによる食生活診断	HP	1/7	20	
—	1/17, 18	後期試験 : 試験範囲は第6~10通レポート				1/7	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	・正答率が95%以上である。	・調べ学習や実習などを伴う設問に対して、設問の指示を踏まえて、丁寧かつ的確に取り組んでいる。	・設問の主旨を的確に捉え、自身の考えを分かりやすく表記している。
B	・正答率が80%以上である。	・調べ学習や実習などを伴う設問に対して、設問の指示を踏まえて、取り組んでいる。	・設問の主旨を捉え、自身の考えを表記している。
C	・正答率が70%以上である。	・調べ学習や実習などを伴う設問に対して、設問の指示が踏まえていない部分がある。	・自身の考えを表記しているが、説得力に欠ける内容である。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が70%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA~C, 期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
家庭	フードデザイン	4	教図 フードデザイン Food Changes LIFE	(実教 2026 生活学 Navi)
履修上の留意点		・標準 3年次履修 ・「化学基礎」との選択		
指導目標	(1) 栄養, 食品, 献立, 調理, テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに, 関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し, 食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 食生活の充実向上を目指して自ら学び, 食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接時数 8 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>デザイン減免あり なし</small>
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する参考となる NHK高校講座の回
1	5/10, 11	P6~14 P130~146	副教材については スクーリング 内で指示	健康と食生活・食育と食育推進活動	第1通	5/21	なし
2	5/24, 25	P16~22		栄養素と消化吸収・炭水化物	第2通	6/4	
3	6/7, 8	P23~29		脂質・たんぱく質	第3通	6/18	
4	7/5, 6	P30~35		ビタミン・ミネラル・水とその他の栄養素	第4通	7/16	
5	7/26, 27	P36~45 P190		穀類～果実類 実習① 穀物・砂糖類の調理	第5通	8/6	
6	8/23, 24			「世界の食生活(穀類)」	視聴①		
—	9/13, 14	前期試験 : 試験範囲は第1~5通レポート				9/3	—
7	9/27, 28	P46~58 P187	副教材については スクーリング 内で指示	きのこ類～牛乳・乳製品 実習② 魚介類・牛乳の調理	第6通	10/8	なし
8	10/11, 12	P55~74		油脂類・健康食品	第7通	10/22	
9	10/25, 26			「食中毒とその予防」	視聴②		
10	11/8, 9	P76~88		食品の選択と取り扱い	第8通	11/19	
11	11/15, 16	P90~102 P148~155 P162~163		実践編 献立と調理 実習③ 弁当の和風献立	第9通	11/30	
12	11/29, 30			「テーブルコーディネート」「テーブルマナー」	視聴③		
13	12/13, 14	P104~124		各国料理とコーディネート	第10通	12/24	
—	1/17, 18	後期試験 : 試験範囲は第6~10通レポート				1/7	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	・正答率が95%以上である。	・設問の主旨を的確に捉え、自身の考えを分かりやすく表現している。	・調べ学習や実習などを伴う設問に対して、設問の指示を踏まえて、丁寧かつ的確に取り組んでいる。
B	・正答率が80%以上である。	・設問の主旨を捉え、自身の考えを表記している。	・調べ学習や実習などを伴う設問に対して、設問の指示を踏まえて、取り組んでいる。
C	・正答率が70%以上である。	・自身の考えを表記しているが、説得力に欠ける内容である。	・調べ学習や実習などを伴う設問に取り組んでいるが、不正解や指示通りでない部分がある。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が70%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA~C, 期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
情報	情報 I	2	東書 新編情報 I	(30時間でマスターWord&Exel2021 Windows11対応)
履修上の留意点		標準 2・3年次履修 【必修科目】		
指導目標	(1) 効果的なコミュニケーションの実現, コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに, 情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え, 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに, 情報社会に主体的に参画する態度を養う。			

年間指導計画							
スクーリング (最低面接時数 4 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>マイ減免あり</small> なし
回	実施日	教科書	(副教材)		No(通)	提出期限	対応する参考となる NHK高校講座の回
1	4/26, 27	P7~34	副教材については	第1章 情報で問題を解決する	第1通	5/13	1~5
2	6/7, 8	P29, P35~62	スクーリング内で指示	第2章 情報を伝える	第2通	6/24	6~10
3	7/5, 6	P154~155	(P24~)(P66~)	実習課題 (文書処理)	第3通	7/22	なし
—	8/23, 24	前期B試験 : 試験範囲は第1~3通レポート				8/6	—
4	10/11, 12	P158~160	(P104~)	実習課題 (表計算処理)	第4通	10/28	なし
5	10/25, 26	P63~90	副教材については	第3章 コンピュータを活用する	第5通	11/12	11~15
6	11/29, 30	P91~118	スクーリング内で指示	第4章 データを活用する	第6通	12/16	16~20
7	12/13, 14	上記頁		まとめ テスト対策			11~20
—	1/10, 11	後期試験 : 試験範囲は第4~6通レポート				12/24	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	効果的なコミュニケーションの実現, コンピュータやデータの活用について理解し, 技能を身につけているとともに, 情報社会と人との関わりについて理解しているとともに, 主体的に参画するための資質・能力がある。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え, 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら, 問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し, 自ら評価し改善しようとしている。
B	効果的なコミュニケーションの実現, コンピュータやデータの活用について理解し, 技能を身につけているとともに, 情報社会と人との関わりについて理解しており, 日常的に活かせる。	事象を情報とその結び付きの視点から捉えることができ, 他者にわかりやすく伝えたり, 表現することができる。	情報社会との関わりについて関心を持ち考えながら, 主体的に問題の発見・解決に向けて自らを尊びながら取り組むことができる。
C	効果的なコミュニケーションの実現, コンピュータやデータの活用について理解し, 技能の定着が一部見られるが, さらに努力が必要。	事象を情報とその結び付きの視点から捉えることができ, 他者にある程度表現することができるが, さらに努力が必要である。	情報社会との関わりについて関心を持ち考えながら, ある程度の主体的学習ができるが, さらに努力が必要である。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や, 正答率が60%未満の場合で, 再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA~C, 期限外ならEX。再提出がされない場合は, 試験の受験資格を失い, 単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
商業	簿記	4	TAC 簿記	(合格テキスト日商簿記3級Ver.15.0)
履修上の留意点		・標準 4年次履修 ・「英語コミュニケーションⅡ」との選択		
指導目標	(1) 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 (3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			

年間指導計画								
スクーリング (最低面接時数 8 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)		視聴メディア <small>メディア減免あり</small>	
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限	対応する <small>参考となる</small> NHK高校講座の回	
1	4/19, 20	P2~21	副教材についてはスクーリング内で指示	1章~3章 簿記の基礎~損益計算書	第1通	4/30	1~3	
2	4/26, 27	P22~41		4章~5章 取引と勘定~仕訳と転記	第2通	5/7	4~5	
3	5/10, 11	P42~63		6章~8章 仕訳帳~精算表	第3通	5/21	6	
4	5/24, 25	P64~80		9章 決算	第4通	6/4	7~8	
5	6/21, 22	P81~84		10章 会計帳簿	第5通	7/2	9	
6	7/5, 6	上記頁		まとめ・前期A試験の対策			1~9	
—	7/12, 13	前期A試験 : 試験範囲は第1~5通レポート					7/3	—
7	8/30, 31	P86~102	副教材についてはスクーリング内で指示	11章 現金と預金の取引(1)	第6通	9/10	10~11	
8	9/27, 28	P103~127		12章~13章 商品売買の取引~掛け取引	第7通	10/8	12	
9	10/11, 12	P128~176		14章~18章 その他の債券・責務(1)~8桁精算表	第8通	10/22	15, 18	
10	10/25, 26	上記頁	まとめ・確認試験の対策			10~16		
11	11/8, 9	確認試験 : 試験範囲は第6~8通レポート				6~8通	—	—
12	11/15, 16	P177~226	副教材についてはスクーリング内で指示	19章~21章 帳簿決算~現金と預金の取引(2)	第9通	11/26	17	
13	11/29, 30	P227~332		22章~30章 その他の債券・責務(2) ~精算表と財務諸表の作成	第10通	12/10	13,14,16,17	
14	12/13, 14	上記頁		まとめ・後期試験の対策			10~18	
—	1/17, 18	後期試験 : 試験範囲は第9~10通レポート					1/7	—

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	ビジネスや商業に関する基礎的な知識や計算に関する技術を十分に身に付けることができ、設問の正答率が90%以上である。	ビジネスや商業において主体的に思考し課題を発見して、解決のための判断をすることができ、設問の正答率が90%以上である。	職業人としての人間性を育み、他者と協働し話し合いながらビジネスに創造的に関わろうとする基礎的な力を身につけようとしており、設問の正答率が90%以上である。
B	ビジネスや商業に関する基礎的な知識や計算に関する技術をやや身に付けることができ、設問の正答率が75%以上である。	ビジネスや商業において主体的に思考し課題を発見して、解決のための判断しようとしており、設問の正答率が75%以上である。	職業人としての人間性を育み、他者と協働し話し合いながらビジネスに創造的に関わろうとする意識は見られ、設問の正答率が75%以上である。
C	ビジネスや商業に関する基礎的な知識や計算に関する技術がやや不十分であり、設問の正答率が60%以上である。	ビジネスや商業において主体的に思考し課題を発見して、解決のための判断がやや不十分であり、設問の正答率が60%以上である。	職業人としての人間性を育み、他者と協働し話し合いながらビジネスに創造的に関わろうとする意識がやや不十分であり、設問の正答率が60%以上である。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、正答率が60%未満の場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA~C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、試験の受験資格を失い、単位修得不可となる。		

山梨県立中央高等学校 通信制課程 通信教育実施計画

教科	科目名	単位数	使用教科書	学習書(副教材等)
総探	総合的な探究の時間	1	本校独自教材	本校独自教材
履修上の留意点		・標準 全年次履修 【必履修科目 3～6単位】		
指導目標	(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			

年間指導計画						
スクーリング (最低面接時数 3 回)		教材 (該当ページ)		学習内容	レポート (添削課題・報告課題)	視聴メディア <small>マイ減免あり</small> なし
回	実施日	教科書	学習書		No(通)	提出期限
1	4/19, 20	なし	なし	各Stepごとのテーマに沿ってその都度指示	初回出席時にNo1を配布、 2回目にNo2を、 3回目にNo3、および最終レポートを配布	なし
2	5/10, 11					
3	6/7, 8			(Step1 学びを知る 標準1年次)		
4	7/12, 13			(Step2 仕事を知る 標準2年次)		
5	8/30, 31			(Step3 進路を考える 標準3年次)		
6	9/13, 14			(Step4 自己実現する 標準4年次)		
					9/30	

学習の成果に係る評価及び単位の修得にあたっての基準 (※ E のままでは単位修得不可)			
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	各Stepの探究内容に対する必要性、重要性を十分に理解しており、必要な知識・技能をもとに、与えられた全ての課題に正しく回答している。	各Stepの探究内容に対する必要性、重要性を理解しており、十分な思考・判断のもとに、与えられた全ての課題で自身の考えを表現している。	各Stepの探究内容に対する必要性、重要性を理解しており、積極的に与えられた課題以上に探究しようとする姿勢が見られる。
B	各Stepの探究内容に対する必要性、重要性をある程度理解しており、必要な知識・技能をもとに、与えられた全ての課題に回答している。	各Stepの探究内容に対する必要性、重要性をある程度理解しており、思考・判断のもとに、与えられた課題で自身の考えを表現している。	各Stepの探究内容に対する必要性、重要性をある程度理解しており、主体的に与えられた課題以上に探究しようとする姿勢が見られる。
C	各Stepの探究内容に対する必要性、重要性をある程度理解しているものの、必要な知識・技能をもとにした課題の回答がやや不十分である。	各Stepの探究内容に対する必要性、重要性をある程度理解しているものの、思考・判断をもとにした課題の表現がやや不十分である。	各Stepの探究内容に対する必要性、重要性をある程度理解しているものの、主体的に取り組む姿勢はやや不十分である。
E	レポートに未記入等の不備がある場合や、記述内容が稚拙な場合で、再提出が必要である。レポートの締切期限以内ならA～C、期限外ならEX。再提出がされない場合は、単位修得不可となる。		